

国際会長黄氏も出席

鳥栖RC 40周年式典

会員と旧知「共に祝福を」



JR鳥栖駅東側で記念植樹をする国際ロータリーの黄会長（右）

国際ロータリーの黄其光会長(70)が25日、鳥栖市であった鳥栖ロータリークラブ(RC、本島勝章会長)の創立40周年式典に出席し、記念植樹をした。国際会長が一地域のRCの行事に参加するのは異例。

RCは職業を通じて社会奉仕をする団体。世界200カ国・地域以上に約3万5千クラブがあり、約122万人の会員がいる。台湾の黄会長はその国際組織のトップ。

黄会長と鳥栖RCとの縁は、福岡や鳥栖、対馬など

をエリアとする国際ロータリー第2700地区で大会を主宰する「ガバナー」を2000～01年に務めた大島英二さん(82)は鳥栖市養父町IIが、米国で研修会に参加した際に懇意になり、親戚同様のつき合いをしてきた。

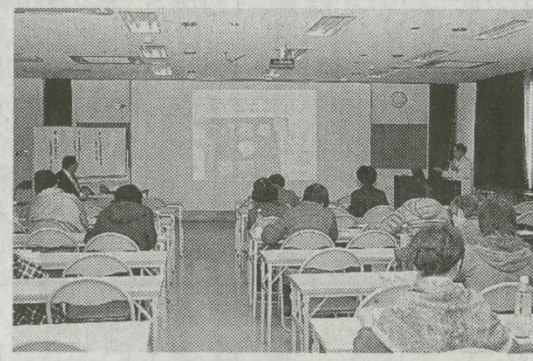
黄会長は式典に先立ち、JR鳥栖駅東側であった記念植樹にも参加。植えられたヤエザクラなどの3本の木の根元に、橋本康志市長とともにシャベルで土を掛けた。式典では講話を披露。「世界中を旅していて、この大会のために35時間かけて飛んできた。参加できて光栄だし、旧友と一緒に祝えるのはうれしい。80歳になる10年後に鳥栖ロータリー

ークラブ50周年をみなさんと祝いたい」と話し、会員ら約160人から拍手を受けた。(大近英樹)

糖尿病用の食事
食べながら学ぶ

東佐賀病院で講座

みやき町の国立病院機構東佐賀病院は18日、同病院



の地域医療研修センターで、糖尿病の公開講座を開いたII写真。同病院は生活習慣病であ

重要無形民俗文化財「立」が伝わる。21日、地元の子ども米多浮立を米多浮立の「お

